

令和7年5月19日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆令和7年普及指導員資格試験 受験願書受付中です！

☆農作業受託に必要な機械導入等の支援を第3回公募中！6月末まで（令和6年度補正「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急事業」）

【病害虫発生予報の発表について】

☆「令和7年度 病害虫発生予報第2号」（令和7年5月14日（水）付け）を発表しました

【施策情報】

☆農業者と対話しながら、より安全な農作業に向けた目標を作成しましょう！（対話型研修のススメ）

☆食品ロスの削減へ：良い取組やアイデア、お困りごとを教えてください！

☆農薬危害防止運動が始まります

☆〈参加費無料〉第2回農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ

☆農業現場におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について

☆研究成果「稲作における有機栽培及び特別栽培の収益構造 ―『営農類型別経営統計（個別経営）』個票を用いて―」

☆〈みどり戦略技術紹介〉水稻本田での農薬散布の効率化（自己拡散・軽量・省力製剤）

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

◆令和7年普及指導員資格試験 受験願書受付中です！

=====

令和7年普及指導員資格試験の受験案内をホームページに公表しました。

本試験の受験を予定している方は御確認ください。

本年の試験は昨年とほぼ同様のスケジュールを予定しており、願書の受付は令和7年6月6日（金曜日）を締切としています。受験手続等の詳細については、

受験案内を御確認ください。

▼詳細はこちら

○資格試験情報

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_siken/

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

(担当：篠原) (03-3502-6460)

=====

◆農作業受託に必要な機械導入等の支援を第3回公募中！6月末まで（令和6年度補正「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急事業」）

=====

農作業受託等（農業支援サービス）を通じて農業者をサポートする事業者が、コンバインやドローン等の農業機械を導入する場合の支援（補助率1／2）や、農業支援サービス事業の立上げ・既存事業の拡大の際に行うニーズ調査、専門人材の育成（例：ドローン免許の取得）等、事業（拡大）初期に係る費用を幅広く支援（定額）する事業について、第3回公募を6月末まで実施中です。

農業支援サービス事業の主体は、農業者に限らず、農業分野とは直接関係のない事業者（例：建設業者等。個人・法人も問いません。）でも可能です。

普及指導員の皆様におかれましては、この機会に、管内の事業者幅広くご紹介いただき、農業現場の人手不足の解消等に役立つ農業支援サービス事業の推進にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

○スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業（令和6年度補正予算）

・事業PR資料はこちら：

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/attach/pdf/service-97.pdf>

・事業の公募情報等はこちら：

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/250422_141-1.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課

(担当：スマート・サービスユニット) (03-6744-2107)

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和7年度 病虫害発生予報第2号」（令和7年5月14日(水)付け）を発表しました

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第2号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

- ・麦の赤かび病：東海及び近畿の一部の地域
- ・きゅうりのアザミウマ類：北九州の一部の地域
- ・果樹カメムシ類：東海の一部の地域

この他、トマトのコナジラミ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

▼詳細はこちら

- ・都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和7年度 病虫害発生予報第2号」の発表について（令和7年5月14日付け農林水産省プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250514.html>

○これまでの病虫害発生予報についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

（担当：岡田、城野、古澤）（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆農作業者と対話しながら、より安全な農作業に向けた目標を作成しましょう！（対話型研修のススメ）

【農林水産研修所 つくば館】

=====

対話型研修とは、研修の参加者と研修担当者が意見交換をしながら、研修参加者が自発的に農作業安全目標を作成し、取り組むように促す研修です。

この度、対話型研修の実施手法について、実習等を通じて習得するための研修をオンラインで実施します。いずれも定員20名、同じ内容を予定しています。

受講希望の方は、受講申請書と事前提出物に必要な事項を記載の上、電子メールにより申し込みをお願いします。

普及指導員の皆様におかれましても、ご参加及び関係者への周知のほどよろしくお願い致します。

日時：

- ・対話型研修実施手法習得コース1：令和7年6月20日（金）9：30～16：30
 - ・対話型研修実施手法習得コース2：令和7年12月12日（金）9：30～16：30
- 申込期限：コース1は6月6日（金）、コース2は11月28日（金）

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/anzen/07taiwa.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館

（農業機械研修担当）（029-839-9481）

◆食品ロスの削減へ：良い取組やアイデア、お困りごとを教えてください！

【新事業・食品産業部 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室】

本年度3月、政府は2030年事業系の食品ロス削減の新目標を従来の50%から60%削減とすることを発表しました。国連機関（UNEP）によると日本は食品ロス削減で世界でトップの国のひとつです。大阪・関西万博2025でも、飲食店舗に食べきを促す掲示や小盛りメニューの提供を呼びかけています（[Expo2025 大阪・関西万博](#) | [「消費者庁」めざせ！食品ロス・ゼロ](#)）。

きれいに完食するだけで
喜んでくれる人がいます。

Finishing your meal makes someone happy.

「ありがとう」の気持ちを込めて食べ残しをゼロに。
Zero leftovers with gratitude of ARIGATO.



食品ロスの削減には、1/3 ルール商慣習の見直し、AI 需給予測やアップサイクル、食品寄附など食品事業者の取組に加え、規格外野菜等の有効活用など産地との取組も大切です。どうしても発生する食品廃棄物は、肥料や飼料などにリサイクルして農産物生産に利用できます。

この取組を支援する国の再生利用事業計画認定制度（食品リサイクルループ）（https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syokuhin/s_hourei/keikaku.html）もあり、全国で54件の計画が認定されています。

農水省食ロス室では、これらの制度や支援策、優良事例・ノウハウをいろいろな方々に共有しコラボレーションを拡げています。普及指導員の皆様におかれましては、良い取組やアイデア、お困りごとやご質問がありましたら、以下連絡先まで連絡いただくようご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○食品ロス・食品リサイクル

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/

○Expo2025 大阪・関西万博 | 「消費者庁」めざせ！食品ロス・ゼロ

<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/expo2025/>

e-mail : loss-non@maff.go.jp

件名は「e-普及だよりを見た」としてください。

○地方農政局 食品企業課

<https://www.maff.go.jp/j/org/outline/dial/kyoku.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室

(鈴木、伊藤、山口) (03-6744-2066)

◆農薬危害防止運動が始まります

【消費・安全局 農産安全管理課】

令和7年度の運動テーマは「使用前、周囲よく見て ラベル見て」です。
普及指導員の皆様におかれましては、農薬が安全かつ適正に使用され、農薬による事故・被害が発生しないよう、各地域の実情に応じた取組を進めていただくよう、ご協力のほどよろしくお願いします。

<特に注意するポイント>

- (1) 農薬ラベルによる使用方法の確認
- (2) 土壌くん蒸剤使用時の適切な取扱い
- (3) 住宅地等で農薬を使用する際の周辺への配慮及び飛散防止対策
- (4) 誤飲、盗難等防止に向けた適切な保管・管理

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課

(担当：廣谷、金野) (03-3501-3965)

◆〈参加費無料〉第2回農業者年金オンラインセミナー開催のお知らせ

【独立行政法人農業者年金基金】

(独)農業者年金基金では、「農業者年金と iDeCo の違い 徹底解説」をテーマに第2回農業者年金オンラインセミナーを開催します(事前登録制・参加費無料)。

本セミナーでは、農業者年金の特徴や iDeCo の特徴などについて解説します。

農業者年金と iDeCo の違いを知りたい農業者の方や投資・運用などに興味がある農業者の方々に、ぜひご参加いただきたいと考えています。

普及指導員の皆様におかれましては、地域の農業者、特に若い農業者や女性農業者に向けて本セミナーの開催についてお知らせいただくとともに、ご自身にとっても農業者年金を知る良い機会ですので、ぜひご参加ください。

▼開催日時：令和7年5月29日(木) 15:00~16:00

▼申込締切：令和7年5月28日(水)

▼申込フォームはこちら (Google フォーム)

<https://forms.gle/HxKJPCYAXBQ6gPKi6>

▼詳細はこちら (独立行政法人農業者年金基金 Web)

<https://www.nounen.go.jp/nounen/seido/gaiyou/seminar/index.html>

※お問い合わせ先

=====

◆農業現場におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について

【農村振興局 鳥獣対策・農村環境課】

=====

近年、クマ類の分布が拡大し、人身事故などが多く発生しており、今年度もすでに冬眠明けのクマ類の目撃が報告されています。

クマ類は、高い学習能力によって、一度エサを見つけると、それに執着するなど危険な行動を誘発する可能性があるといわれています。

農業現場においてクマ類との遭遇を避けるため、農作物の収穫残さや放置された果実等の誘引物の除去など、クマ類への注意・対策が必要であり、農林水産省から各都道府県あてに通知したところです。

普及指導員の皆様からも農業者等への指導及び注意喚起の徹底について、指導をよろしくをお願いします。

○農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい！」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuukanki/attach/pdf/index-12.pdf>

○農林水産省から都道府県あての注意喚起の通知

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuukanki/attach/pdf/index-13.pdf>

○「クマ類の出没対応マニュアル－改定版－（環境省）」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

○環境省 WEB サイト「クマに関する各種情報・取組」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課

（担当：高木、藤邑）（０３－６７４４－７６４２）

=====

◆研究成果「稲作における有機栽培及び特別栽培の収益構造 —『営農類型別経営統計（個別経営）』個票を用いて—」

【農林水産政策研究所】

=====

環境保全型農業の取り組みを拡大するには、生産者にとって高い収益が見込まれることが重要です。当研究所では、農林水産省の『営農類型別経営統計（個別経営）』を用い、稲作における有機栽培、特別栽培、慣行栽培を比較して、これらに取り組む経営体の収益構造を統計的に分析しました。その際、経営規模別（小規模／大規模）、地域別（北日本／南日本）にも検証し、経営規模や地域により状況が異なることも明らかにしました。

普及指導員の皆様に、情報提供します。また、今後の研究を進める上で、現場の実態等と照らし合わせ、ご教授いただければ幸いです。

▼詳細はこちら

<https://primaff.repo.nii.ac.jp/records/2000103>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産政策研究所

(担当：日田) (0 3 - 6 7 3 7 - 9 0 5 9)

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉水稲本田での農薬散布の効率化（自己拡散・軽量・省力製剤）

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様
に役立つ技術をご紹介します。

今回は、水稻本田での農薬散布を効率化できる豆つぶ製剤についてです。

豆つぶ®剤は、水稻作での農薬散布の省力化を目的として開発されました。この剤は、従来の技術である粒剤などと比べて散布量を減らせます。また、散布した後水面を自己拡散するので、散布作業が簡便になり作業効率が大幅に向上します。さらに、輸送、保管や包材の廃棄などの点でも従来技術に比べて優れています。機材を使用しなくても散布できるので、高齢の農家や新規就農者にも扱いやすい資材です。ドローンなどの利用でさらに作業効率が高まるため、大規模経営化の促進にも貢献します。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版:水稲) (PDF:8,034KB) p.30
水稲本田での農薬散布の効率化(自己拡散・軽量・省力製剤)

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/01_midori_catalog5_rice.pdf#page=30

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

(担当：中野、小松崎) (0 3 - 3 5 0 2 - 3 1 6 2)



※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。